

# I. 「診断施設」、「治療施設」のそれぞれに該当するコード番号を記入してください

「診断施設」、「治療施設」のコードは参考資料を確認してください

- 1) A病院において、リンパ腫と診断され化学療法が行われた。  
転居のため自施設に紹介転院。自施設で経過観察を行っている

診断施設 2.他施設診断  
治療施設 4.他施設で初回治療を  
終了後に自施設を受診

- 2) 人間ドックで、要精査となり、B病院を受診。内視鏡下生検にて胃癌と診断  
治療目的で自施設へ紹介。入院後、手術を施行

診断施設 2.他施設診断  
治療施設 2.自施設で初回治療開始

- 3) 不正出血を主訴にCクリニックを受診。超音波検査、細胞診検査を行い、子宮頸癌と診断。  
自施設を受診し、組織診を行い、子宮頸部扁平上皮癌の診断。本人の希望で、D病院へ紹介

診断施設 1.自施設診断  
治療施設 1.自施設で初回治療せず、  
他施設に紹介またはその後の経過不明

## 治療施設コード

1	自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明
2	自施設で初回治療を開始
3	他施設で初回治療を開始後に、自施設を受診して初回治療を継続
4	他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診
8	その他

### Point

A病院で診断、治療が行われたため  
初回治療終了後と考える

### Point

B病院で診断、自施設にて治療が行われている

### Point

Cクリニック、自施設どちらも診断しているが  
最も確からしい検査をしているのは  
自施設であるため自施設診断となる

## II. 「側性」のそれぞれに該当するコード番号を記入してください

「側性」のコードは参考資料を確認してください

エラー1位 E4003

側性と局在コード（側性なし）が矛盾

1	右
2	左
3	両側
7	側性なし
9	不明

1) E病院にて、左主気管支(C34.0)小細胞癌と診断された

側性 2.左

2) F病院にて、血尿を主訴に来院、左膀胱壁(C67.2)尿路上皮癌と診断された

側性 7.側性なし

3) G病院にて、エコー検査・生検施行、右甲状腺(C73.9)乳頭癌と診断された

側性 7.側性なし

4) H病院にて、両側の腎臓(C64.9)に発生した腎芽腫(ウィルムス腫瘍)と診断された

側性 3.両側

5) I病院にて、体幹の皮膚(C44.5)の正中、扁平上皮癌と診断された

側性 9.不明

**Point**  
「3.両側」が使える疾患は3つです

- ・両側卵巣に発生した同じ組織形態の卵巣腫瘍
- ・両側腎臓に発生した腎芽腫（ウィルムス腫瘍）
- ・両側網膜に発生した網膜芽細胞腫

**Point**  
わからない場合、もしくは正中の場合は 9.不明

Ⅲ. 「進展度・術後病理学的」のそれぞれに該当するコード番号を記入してください  
 「進展度・術後病理学的」のコードは参考資料1を確認してください

進展度・術後病理学的コード

400	上皮内
410	限局
420	領域リンパ節転移
430	隣接臓器浸潤
440	遠隔転移
660	手術なし・術前治療前
777	該当せず
499	不明

エラー2位 E4020

観血的治療の有無と進展度・術後病理学的(660、777)が矛盾

1) 60代女性、J病院で乳癌と診断、手術をした。紹介状には「右乳房部分切除術」を施行。病理診断の進展度は限局と記載されていた。自施設では術後の放射線治療を行うために受診した

進展度・術後病理学的 660.手術なし・術前治療後

**Point**  
 自施設で手術をしていないため  
 660.手術なし・術前治療後となる

エラー3位 E4014

治療施設と進展度・術後病理学的が矛盾

2) 50代女性、K病院にて、膵臓癌と診断され、化学療法と放射線治療を計画、施行した。半年後、腫瘍の縮小が確認され、切除可能となったため、自施設へ紹介された。外科手術が行われたが病理結果報告書に術後の進展度を明確に示す記載がなかった。

進展度・術後病理学的 660.手術なし・術前治療後

**Point**  
 初回治療は、K病院で化学療法と放射線治療が計画されている